

『町立病院の画像診断装置を紹介します！』

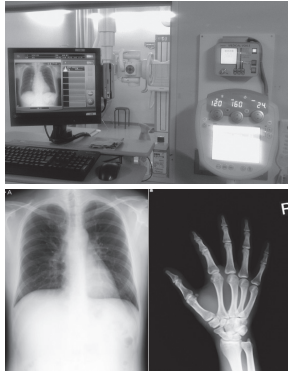
今月号の病院だよりは、放射線科からのご案内です。

町立病院のレントゲン室には、どんな装置があり、またどんな検査を行っているのか、ひとつ一つ簡単に説明していきます。

① 一般撮影装置

皆さんが風邪を引いたり、ケガをされたとき、先生から「レントゲンで調べてみましょう」と言われて受ける検査は、この装置を使って行われます。胸やお腹の他、体にある200以上の骨の撮影を部位ごとに行います。

骨や関節の撮影では、骨折の有無や関節の状態などを調べるため、患者さんに姿勢や体の向きを変えていただきながら撮影が行われます。

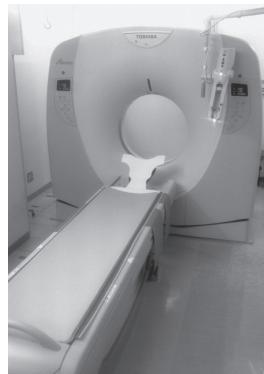


② CT装置

CT装置は、X線を使って身体の断面を撮影する装置です。

検査は頭から足の先まで全身に

わたり詳細な検査が可能です。特に「肺」と「肝臓から腎臓まで」の検査に威力を発揮します。内臓脂肪や肺気腫の測定も行える多才な診断装置です。



また、現装置は検査中のX線被曝を大幅に低減しているのが特徴です。旧型のCT装置と比べ、今は半分以上のX線照射で同じ検査を行っています。

③ X線テレビ装置

この装置はX線を数十秒間、連続照射して、リアルタイムに体内を観察できる装置です。

検査の他に、医師が治療を行うときにも使われます。

- ① 健康診断の胃バリウム検査
- ② 食べ物や飲み込み状態を評価する嚥下（えんげ）造影検査
- ③ 肩や指を脱臼した時に、正常の位置に戻す整復治療
- ④ 体の浅い部分に刺さったガラス

片や針などの異物を取り除く治療に使います。



④ 骨密度装置

この装置は、骨の硬さを数値化して骨粗鬆症を調べる装置です。町立病院は、腕の骨に微量のX線を照射して骨密度を測っています。

北海道は土地柄、冬場に手をついて転び、腕を骨折することが多いので、腕の骨密度を知っておくことは、骨折予防を心がけておくにも重要です。

⑤ エコー装置

エコー装置はX線を使わず超音波で検査をする装置です。

この装置は院内に、2台設置されています。1台は婦人科・健診用。もう1台は整形外科専用です。整形外科専用エコーは、体の表面から浅い部分にある組織

や腱、関節の状態を鮮明に映し出すことができます。整形外科領域の診断と治療を行う装置なので橋本先生が行う検査となります。検査部位は、肩・肘・膝・足首・手首といった関節が中心で、「はく離骨折」といった微細な骨折を診断する時にも使われます。関節内に溜まった水の状態を調べるには、レントゲン検査よりも格段にわかる装置です。



他にも、救急や入院で移動が難しい患者さんに、レントゲン検査を行う「移動型X線装置」を、昨年、更新しております。今後このような画像診断装置を十分利用して、町民の皆様に信頼される安心な医療をお届けしたいと考えております。

（文責：診療放射線技師 津田健志）

